（公社）日本鋳造工学会東海支部　岐阜地区「鋳物技術講演会」開催のお知らせ

主催　（公社）日本鋳造工学会東海支部

日本鋳造工学会東海支部では、下記により岐阜地区「鋳物技術講演会」を開催します。
ご多忙中とは存じますが多数ご参加下さいますよう御案内申し上げます。（他支部からの参加も歓迎します）

［記］

日　時　2021年 1月 20日（水） 13:00～16:00

会　場　Web開催（zoomウェビナー）

13:00～13:05　開会挨拶

13:05～15:50　技術講演会

13:05～14:00　SEM/EDSによる鋳造欠陥の分析事例

(株)ツチヨシ産業　黒川　豊　氏

鋳造欠陥対策には、最初に欠陥の発生原因を特定する必要がある。そのために、欠陥の発生位置や外観、不良率や発生時期、鋳造条件の時系列データと照らし合わせて検討する。しかしながら、ミクロ部位において反応や溶解が伴う欠陥については、特定が難しい場合が多々ある。このような時に、SEM/EDS分析を用いると欠陥からの情報量が増加して、特定しやすくなる。反応が伴う欠陥は、ガス欠陥の中のピンホール欠陥、化学的要因が関与している焼付き欠陥、巻き込み欠陥の中で溶湯中で変化する砂かみ欠陥、などである。これらの鋳造欠陥に対するSEM/EDS分析事例を紹介する。

14:00～14:55　簡易式IoTシステム導入による、鋳物工場の予知保全・生産性向上

鍋屋バイテック会社　岩井　剛一　氏

既存の鋳造ラインのIoT化をどのどのようにスタートし効果を得るか。自社の鋳物工場に導入した簡易式IoTシステム（導入箇所・方法）、および、導入によって得られた効果を、実績を交えて紹介します。

14:55～15:50　IoTの活用による予知保全と復旧支援

新東工業(株)　藪田　詳時　氏

生産量を維持するためには、生産設備の維持管理は重要となり設備保全は必要不可欠となる。しかしながら、少子高齢化社会の訪れとともに、製造現場においても、卓越した技能や経験を持った熟練工は減少傾向となり、設備の保全技術者の技能伝承の遅れや、技術者不足は多くのお客様が「課題」としていることを耳にする。そうした課題のソリューションとして、IoTを活用した設備を止めないための予防保全と、設備故障による停止時間を最小化するための復旧支援サービスの活用事例を紹介させていただく。

15:50～15:55　閉会挨拶

申込方法　東海支部ホームページより（https://jfs-tokai.jp/），12/23（水）までにお申し込みください.

・Web申込みするとzoomより登録確認メールが届きます.

・テキストは1/18(月)までに郵送いたします.

※(定員数200名)先着順定員になり次第締め切ります.

【注意事項】

・登録にはアプリケーションのインストールが必須となります.

・同じメールアドレスで複数のデバイスから入室できませんのでご了承ください.

・当日は開始30 分前から入室ができます.

参 加 料　1名 5,000円（申込み後お振込みください.振込手数料は申込者がご負担ください.）

送金方法　銀行振込　三菱UFJ銀行金山支店　普通預金口座　支店番号 288
口座番号　1262063（公社)日本鋳造工学会東海支部
（領収書は、銀行の振込受領書を持ってかえさせて頂きます）

問合せ先　〒475-0033 愛知県半田市日東町4-15（株)豊田自動織機　東知多工場　鋳造生産技術部内
日本鋳造工学会東海支部　事務局　森田純男（TEL:0569-26-4759）
E-mail: jfs-tokai@mm.toyota-shokki.co.jp (FAX:0569-26-5505)
当日緊急連絡先:事務局携帯　090-1281-8441